

令和6年度前期授業評価アンケート集計結果

1. 趣旨

極域科学コースが開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生／コース生にアンケート用紙を個別配布（Excelで配布）し、電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 17 科目
- 2) 履修者数 38 名 (延べ人数)
- 3) 期待回答数 38 件
- 4) 回答数 38 件
- 5) 回答率 100.0% (回答数(4) / 期待回答数(4)) × 100

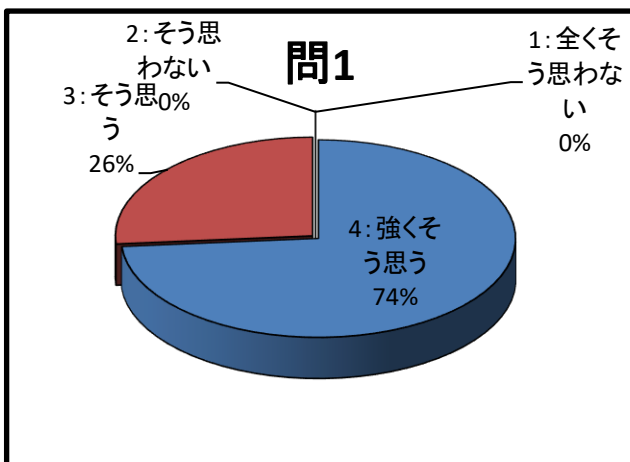
4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

4 : 強く思う 3 : そう思う 2 : そう思わない 1 : 全くそう思わない

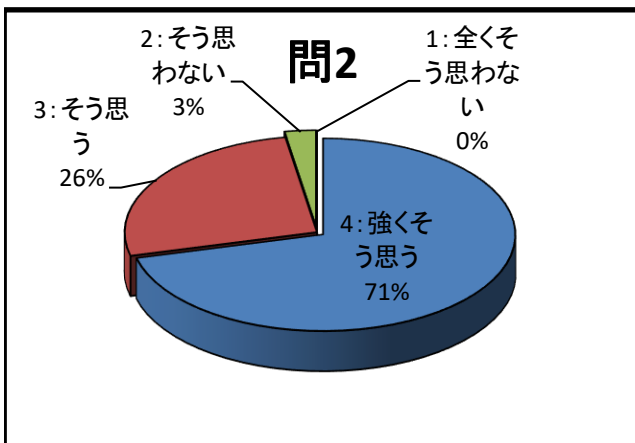
問1. 授業の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

4 : 28件 3 : 10件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.74】



問2. 授業の難易度は適切でしたか。

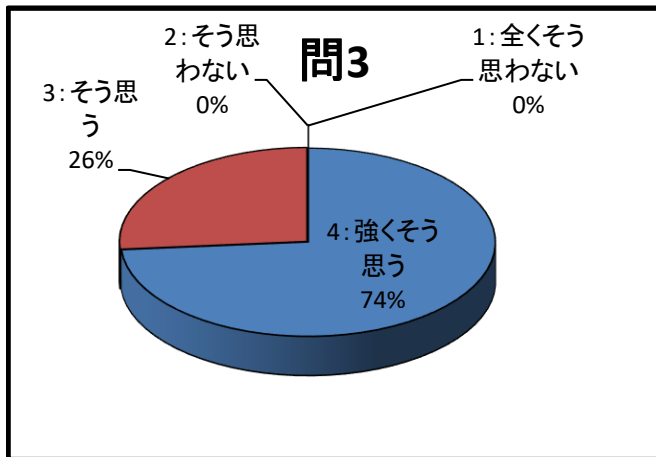
4 : 27件 3 : 10件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.68】



問3. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 28件 3 : 10件 2 : 0件 1 : 0件

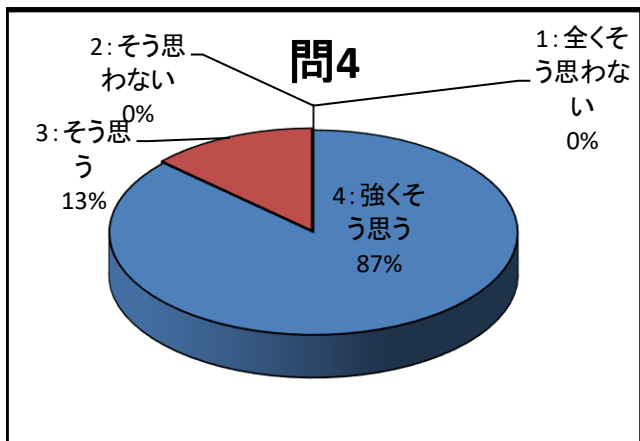
【平均3.74】



問4. この授業を受けることで、理解が深まりましたか。

4 : 33件 3 : 5件 2 : 0件 1 : 0件

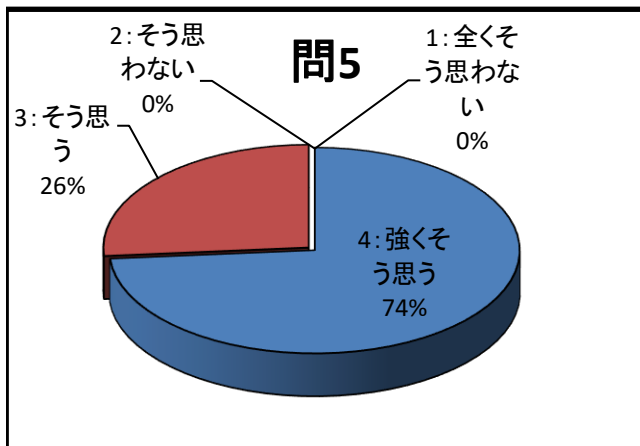
【平均3.87】



問5. 授業により知的な刺激を受け、更に関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 28件 3 : 10件 2 : 0件 1 : 0件

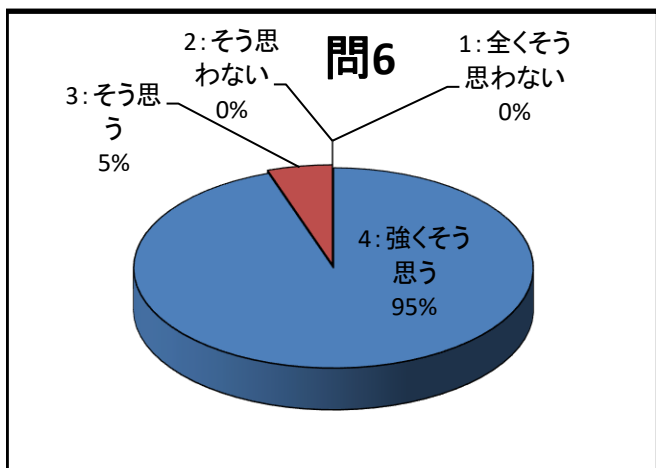
【平均3.74】



問6. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 36件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件

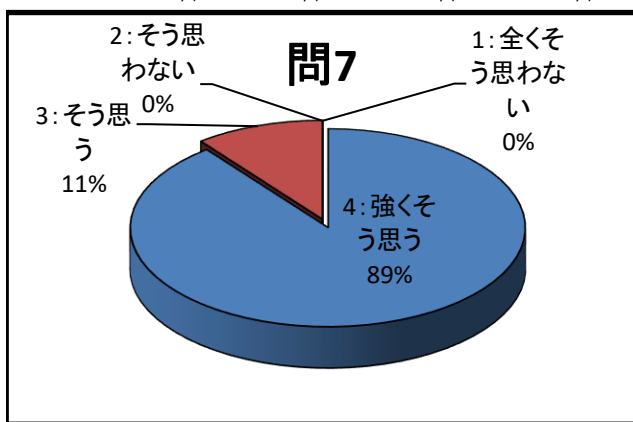
【平均3.95】



問7. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 34件 3 : 4件 2 : 0件 1 : 0件

【平均3.89】



問8. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 : 34件

良かった点 :

- ・ 重力や距離を実際に測定するなど、理論と実技を組み合わせた授業でフィールドワークがどのようなものなのか、想像しやすくなりました。
- ・ 教員が質問に柔軟に対応し、適宜に授業内容をより掘り下げて説明してくれたことで理解が深まっただけでなく、研究に直接活かせる知識を身に着けることができました。
- ・ 私達の質問に丁寧に答えていただいたこと。また、先生の話聞くだけでなく私達が発言する機会がたくさんあったこと。
- ・ 様々な分野の話を聞いたこと。
- ・ 実際にどのような方法で実験を行うのかについて知れたところ。
- ・ 宇宙物理の分野の中でもさまざまな現象について知ることができたのが良かった
- ・ 疑問点に適宜対応し資料に加えてくれたこと

- ・GPSと重力の測定を実際に行えたことが良い経験になった。特にGPSはいずれ行おうと思うので。
 - ・測定の歴史が、精度向上の物語と先人による努力の2点で面白かった。
 - ・教員と学生の議論・会話によって内容がより深まり勉強になった。いい雰囲気だった。
- 気候についての知識が深まりました。また、先生自身の研究についても触れてもらえて興味深かったです。課題や質問に講義ごとに対応してもらえたのも良かったです。
- アイスコアの歴史や、実際に作業している様子について知ることが出来て興味深かったです。また、毎回授業を録画してもらえて良かったです。
- 海の研究や氷の研究、大気の話など、これまで全く知らなかった話も多く興味深かったです。先生によっては、科学館や低温室の見学などもあり、教室だけでない授業もより理解が深まりました。
- それぞれの先生の研究分野について知ることが出来て興味深かったです。自分の研究分野以外についても関心が広がりました。
- 南極・北極についての自分の分野以外の研究や、研究活動をするための組織やその歴史なども知ることができて良かったです。
- 海洋の生態学の基礎的な知識を学ぶことができた。また、最後に受講者の専門分野の論文紹介をする時間があつた。
海洋に関係している部分だけでなく広く様々なことに興味を持つきっかけになった。
- 授業が少人数で、自分で考えて発言する機会が多くあつたことが良かった。
また授業の内容としては、湖沼の基礎的な知識から、特に極域の湖沼の特徴について勉強できた。湖沼生態系のことを、もっと詳しく知りたいと思うきっかけになった。
- 様々な視点から気候変動や地球温暖化、大気システムなどについて勉強することができた。難しい数式をできるだけ用いずに解説してくださったので、概要を理解しやすかった
気水圏の授業だったが、地圏の自分にとって重要な内容を詳しく勉強する機会を得られた。
- 内容が難しい部分もあつたが、質問をして理解を深めることができた。
先生方が交代で授業をしてくださる内容で、大気や海洋の様々な観点から気候変動について考えることができた。また、極域の海洋に関して、基礎知識をわかりやすく解説してくださり、理解がしやすかった。
- 理解が難しい内容もあつたが、自分の分野とも関係する年代のことや過去の気候変動のことなどを勉強することができた。スライドを持ちいて授業を進めてくださり、話の内容がわかりやすかった
- 生物圏・地圏の先生方の授業を多く受けることができた。
先生方の研究内容について知る機会を得られた。
- 極域科学に関することを学べる内容だった。特に南極条約のことや南極観測隊を支える方のお話、南極に関する学会のことなど、今後必要になると思う内容を学ぶことができ、有意義な時間になった。
- 課題のフィードバックがわかりやすかった
質問に必ず答えてくれた
- アイスコアの歴史から分析手法まで学ぶことができた
論文の図がたくさん使われていたため、論文を探すことで自分でも勉強しやすかった
- 雪氷について幅広く学べて楽しかった
先生の研究紹介もあり面白かった
- 実際にドームふじで使われる機械を用いてコア処理を行うことができた
- 様々な分野を学ぶことができた。

- ・ 他の授業とは異なり、条約や歴史、研究体制について学ぶことができ面白かった
- ・ 海洋生態学に馴染みのない方でも分かりやすい説明だった。
スライドの内容を話すだけでなく、担当者の先生の考えなどを聞けるのが良かった。
- ・ 論文紹介が2回あり、最新の研究事例をスライドでまとめて紹介する良い機会となった。
- ・ 分野を横断して極域に関する講義を聞けるのが良かった。

改善すべき点：

- ・ 全ての内容を説明しきる時間はないので、授業開始時に学生が特に関心を寄せている分野を確認し、重点的に扱うやり方も考えられるかもしれません。
- ・ この授業は、極地観測における課題を多く扱う講義だったので、90分間話を聞くだけでなく、生徒が話し合いをするような授業スタイルの方がいいと思う。
- ・ 特にないが、欲を言えば絶対重力測定を行ってみたい。

1つのテーマの授業が3回で終わってしまうせいで、内容を理解する前に次の先生の授業を受けることになり頭がついていけないことがあった。
先生ごとに授業の難易度がかなり違った。

平均的には満足だったが、一部の講義で内容が専門に偏りすぎて90分聞いても分からないことが2~3回あった。

- ・ オムニバス形式の講義では時間が限られているので、専門分野はもう少し分かりやすく説明するか、ここだけは覚えて帰って欲しいポイントを決めて伝えて欲しい。

5. 令和6年度前期授業評価アンケートのまとめ

